

# 一般質問通告表

平成19年第3回沖縄県議会(定例会)

10月04日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	池間 淳(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	沖縄都市モノレールの延長について		
(1)	福祉センター改良案について		
ア	途中提案に対する検討委員会の取り扱いについて		
(2)	浦添ルート案と福祉センター改良案との下記項目についての説明を願いたい。		
ア	利便性について		
イ	まちの発展性について		
ウ	交通結節利便性について		
エ	早期実現性について		
オ	経営採算性について		
(3)	去る8月30日のマスコミ報道によると、検討委員会で浦添市の点数評価が実情より低いという意見があったとあるが、このことについて詳しく説明願いたい。		
2	建設産業の育成について		
(1)	建設産業の育成について、県の方針(従来と今後の方針)を説明ください。		
(2)	最近、最低価格の入札が多いようだが、このような状態が今後続いていくと建設産業の将来はどうなりますか。5年~10年後をシミュレーションして説明願いたい。		
(3)	最低制限価格の設定で現場監理費の100%計上をお願いする要請が8月7日に沖縄建設業協会から提出されているが、この要請について県民にわかりやすく説明していただきたい。		
3	我が党の代表質問との関連について		

# 一般質問通告表

平成19年第3回沖縄県議会(定例会)

10月04日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
2	17分	小渡 亨(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	中国の外交白書に関連して		
	(1) 中国の外交白書(2007年版)に対する所感について		
	(2) 尖閣諸島の地籍を説明してください。		
	(3) 固定資産税等はだれが、どこに、幾ら支払っているのか。		
	(4) 現在の権利関係の状況を説明してください。		
	(5) 知事の視察の予定を説明してください。		
	(6) 4億円余も資金協力した福建・沖縄友好会館の現状を説明してください。		
2	米陸軍複合射撃訓練施設について		
	(1) レンジ16付近の代替施設の完成はいつか。		
	(2) 前知事が赤鉢巻きをして県民集会(平成17年7月19日)を開いたころ、既に訓練は実施されていた。そして、当時大変危険と言われていた訓練も実施されている。具体的な訓練内容を説明してください。		
3	呉屋十字路スクランブル交差点について		
	(1) 県庁前通りと比べるとかなり人通りも少ない呉屋十字路で、スクランブルにした必要性を改めて説明してください。		
	(2) 交通渋滞がかなりひどくなっておりますが、設置前に比較して、渋滞の状況を数字(時間)で説明してください。		
	(3) 慢性的な交通渋滞解消策にはどのようなことが考えられるのか、例示してください。		
4	運転免許関係事務の民間委託の見直しについて		
	(1) 委託の対象とする事務の範囲を具体的に示してください。		
	(2) 委託の方法について、まず現状を説明し、今後どのように改正していくのか明示してください。		
	(3) 委託先の数について、現状の問題点と県民の利便性について説明してください。		
5	県道20号線拡幅に伴う沖縄警察署の移設計画について		
6	我が党の代表質問との関連について		

# 一般質問通告表

平成19年第3回沖縄県議会(定例会)

10月04日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
3	17分	嶺井 光(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	多様な人材の育成と文化の振興について		
	(1) 学校教育の充実について		
	ア	30人以下学級の実施に向けた「検討委員会」の協議状況は、どう進捗しておりますか。	
	イ	「検討委員会」は学校現場の実態を的確につかむ必要があります。どのように把握されておりますか。	
	ウ	県費負担教職員の条例定数は何人か、現在の実数は何人か、そのうち定数内臨時的任用教員は何人か示してください。	
	エ	定数内臨時的任用教員では身分が不安定であることはもとより、短期雇用のために生徒との深いかわりができないと思うが教育委員会はどのように認識しているか。	
	オ	来年度から30人以下学級を実施すると、新たに教室を必要とする学校は何校あるか、学校設置者である市町村とはどのように連携するか。	
	カ	来年度から30人以下学級を実施すると、何人の教員増となりますか。	
	(2) 教育再生について		
	ア	義務教育費国庫負担制度の負担率を2分の1に戻すことが再生効果を上げるための具体策になると考えるが、知事会や教育長会等で国への働きかける考えはないか。	
	イ	文部科学省は、3カ年で21,362人の教職員をふやす計画をまとめております。そのねらいは何か。	
	ウ	初年度の平成20年度予算要求に7121人の概算要求をしております。増員する教員の職種は管理職を補佐する主幹教諭に厚みをおいているが、少人数指導に重点を置くべきであると考えているが所見を伺う。	
	(3) 食育の推進について		
	ア	高校生の部活動における体力の消耗やカルシウム補給を考えた場合、牛乳等によるカルシウムの摂取は成長期にある高校生にとって非常に大切であります。若者が健全な身体をつくるためにも高等学校における無調整牛乳を飲む環境をつくる必要があると考えるが県の所見を伺います。	
	イ	本県はこれまで健康長寿の県として誇ってきました。しかし、男性が26位ショックで後退し、女性も首位の座を明け渡す見通しになったと言われております。長寿県復活のためには、子供のころからの食事に対する正しい考え方を教える必要があります。学校における食育の中でどのように取り組んでいるか。	
	ウ	最近、無理なダイエットで女性ホルモンのバランスが崩れ、若い女性にも骨粗しょう症が見られるということでもあります。女性は子供を産む大切な役割を担っており、若いときにカルシウムを十分に摂取することが大切であります。小・中学校では学校給食で牛乳を提供しておりますが、高校生へはどのように対応するか。	
	エ	高等学校において、週2回程度は牛乳を飲む習慣をつくるためにモデル校等による取り組みを提案しますが、教育長の見解を伺います。	

(4) 文化の振興について

- ア 空手界において4会派の統一に向けた動きがありますがどの程度進んでいるか。また、行政として県はどのようにかかわっているか。
- イ 沖縄の伝統文化としてはぐくまれた空手を国の重要無形文化財として取り組む考えはないか伺います。

2 自立型経済の構築に向けた産業の振興と雇用の創出・確保について

(1) 雇用の安定と企業誘致について

- ア 完全失業率の全国平均を目指して、雇用創出を図るには企業の誘致が必要であります。特別自由貿易地域の早期分譲にどう取り組むのか。
- イ 特別自由貿易地域の処分状況は、どのようになっているか。
- ウ 特別自由貿易地域の減額譲渡条例が提案されているが、どの程度の効果を見込んでいるか。

3 都市計画区域の見直しについて

(1) 那覇広域都市計画区域設定の考え方について

- ア 沖縄県では6つの都市計画区域が指定されております。その中で那覇広域都市計画区域だけが「区域区分」のある都市計画区域となっております。その背景と理由は何か。
- イ 佐敷・大里地域では行政区域の96.4%が市街化調整区域となっており、都市計画法の開発許可制度により非常に厳しい規制がかけられ、住民へ大きな負担となっております。そのことをどのように認識しておりますか。
- ウ 那覇広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の見直し作業が進められております。その中で「都市計画区域の範囲及び規模」について、旧知念村、旧玉城村、旧具志頭村は、合併や発展の動向を踏まえて、関係自治体と調整を図った上で適切に対処する。と記されております。現時点でどのような調整がなされておりますか示してください。
- エ 南城市は「土地利用対策室」を設置して、土地利用の望ましい方向性を検討しております。那覇広域都市計画区域の中では、主体性が発揮できないため南城市独自の都市計画区域指定を望む市民の声があります。そのことについて県としてはどのように考えるか。

4 農林水産業の振興について

(1) 経済連携協定（EPA）について

- ア 沖縄の基幹作物であるさとうきびやパイナップル、乳製品などに大きな打撃となる日豪EPA交渉はどのように進んでいるか。県はどのように対処しているか。

(2) さとうきび価格制度について

- ア 経営安定対策交付金の特例期間後に向けた取り組みはどうなっているか。

(3) 農業用水の確保について

- ア 大城ダムの活用については、条件整備が整い次第取り組むと言うことであるが現在の課題は何があるか。
- イ かんがい排水事業（雄樋川1期）玉城西部地区貯水池の進捗状況はどうなっているか。

(4) 漁業の振興について

- ア 平成19年7月12日の台風4号により南城市奥武漁港において、護岸や臨港道路が決壊している。2年前にも同様な被災があり、現況復旧では、またも同様な被災が予想されます。国庫補助事業による抜本的な対策が必要と考えるがどのように取り組むか伺います。
- イ 奥武漁港は、平成11年度に第9次漁港整備長期計画によって漁港改修事業が完了しております。しかし、その後若い漁業者がふえ、漁船が大型化し漁港たまり場の岸壁が狭隘な状況となっております。漁村再生交付金事業で増設整備ができないか県の考えを伺います。
- ウ セーイカ漁やマグロ漁は、大東島近海で操業しているが台風や休憩のために南大東漁港に避難するとき北風になると、出入りが厳しい状況であります。したがって北大東に南向きの漁港をつくり漁業基地として燃料補給や製氷施設を整備し、漁業者の経営支援策をする考えはないか県の考えを伺います。
- 5 子育て支援・少子化対策について
- (1) 認可基準を満たしているにもかかわらず認可を認めない市町村の対応について県はどのように考えるか。また、認可しない市町村の事情はどのようなものがあるかと考えるか。
- (2) 認可を目指しても都市部においては敷地の狭隘等、施設等の改善が厳しい面があります。認可基準に階層を分けて緩和する制度をつくり、均衡ある公的助成によって適切な子育て支援の環境を充実させることを提案しますが、県として国に対応を求める考えはないか伺います。
- (3) 認可外保育園の給食費について、公費助成に向けた県の取り組み状況を伺います。
- 6 道路事業について
- (1) 県道48号線について
- ア 稲嶺交差点改良の進捗状況はどうなっておりますか。
- (2) 国道331号中山バイパスについて
- ア 進まない理由は何か。
- (3) 県道17号線の渋滞解消のためには、主要交差点の右折帯の設置が必要と思うが県の対応を伺います。
- (4) 県道与那原～糸満線の国道格上げについて、知事の所見を伺います。
- 7 災害対策について
- (1) 玉城少年自然の家付近の高台から下流の百名地域への雨水被害は農地や住宅の床上冠水を来し、地域住民は大雨のたびに不安を強いられております。南城市と調整を図るとしてありますがどのような事業が検討されておりますか。
- (2) 小谷地区の土砂崩壊対策は、南部土木事務所の適切な対応により被害を最小限度に食い止めました。地質等の調査が実施されておりますが、現時点において対策の工法はどのようなものが検討されておりますか。
- 8 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成19年第3回沖縄県議会(定例会)

10月04日(木)

順位	時間	氏名 ( 会 派 )	答弁を求める者
4	17分	當間 盛夫(維新の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	<p>沖縄振興計画後期展望について</p> <p>(1) 振興計画前期で、失業率・県民所得・経済成長率・生活保護世帯数、これらの数字が改善されなければ評価されるものではない。策定前と現在とを比較して、どれだけ改善がなされたのか伺う。</p> <p>(2) IT津梁パーク整備事業で何がもたらされ、沖縄にどのような効果がもたらされるのか伺う。</p> <p>(3) これだけの公的予算を使うのであるから利用する情報通信産業の企業は雇用形態は「本採用」にすべきと思うが伺う。</p> <p>(4) 大学院大学の事業は、どのような効果を県民にもたらすことができるのか伺う。</p> <p>(5) これまでに大学院大学に投入した予算はどのくらいか伺う。</p> <p>(6) 大学院大学の事業は、沖縄振興費の予算で行われることに疑問を呈するものがある。なぜ、文部科学省の予算ではできないのか伺う。</p> <p>(7) アジア・ゲートウェイ構想で、沖縄の若者の人材育成をどのように考えるか、これまでの事業の成果の検証はあるのか伺う。</p>		
2	<p>基地問題について</p> <p>(1) 普天間基地移設が不透明な状態にあります。参議院は民主党主体に変わりました、アメリカも同様です。これからは知事がみずから政治的決断と行動しなければ解決はありません。どのようなシナリオをお持ちですか伺う。</p> <p>(2) 米軍再編・普天間基地移設のパッケージ論に対して、県はどのような認識を持って移設作業に取り組んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 海兵隊は、オスプレイの配備を予定しているが、配備時期・オスプレイの性能等の確認はできているのか見解を伺う。</p> <p>(4) グアムへの県内企業の事業参加について、政府に積極的に働きかける必要があると思うが見解を伺う。</p>		
3	<p>尖閣諸島問題について</p> <p>(1) 尖閣諸島は沖縄県石垣市であります。しかし、最近の中国の防衛白書でも公然と自国の領土と主張し、台湾も同様の見解を示している。このような領有権問題について、知事の今後の行動計画と見解を伺う。</p> <p>(2) 延期している尖閣視察は早期に行うとあったが、知事の体調を考慮した場合、中止するのではないかと推察しているが所見を伺いたい。また、知事が尖閣列島視察を発表した際の中国や台湾の反応から判断して、本県との関係に悪影響を与えられると思われるが、それでも視察されるのか伺う。</p>		
4	<p>災害時における県の対応について</p> <p>(1) 災害や事故等において、県の迅速な対応が求められているが、各部署の連携はどのように構築されているのか。</p> <p>(2) 災害救助法・被災者生活再建支援法等の適用について、地震や水害が対象とされ、台風被害は視野にない状態である。各市町村から見直しを国に働きかける必要があると指摘されるが、県の対応を伺う。</p>		

- (3) 民間事業者への被害支援策は、どのような対策があるのか伺う。
- (4) 県災害見舞金の支給額は余りにも低額過ぎるが、見直しが必要と考えるが見解を伺う。
- (5) 糸満市真栄平・真壁南地区での水害が拡大した原因の一つに、国営米須地下ダムが浸透の妨げとの指摘も農家から出されているが、因果関係は調査したのか伺う。未調査なら、調査する予定はあるのか。
- (6) 真栄平地区の水害は、生活用水・県道からの導水・隣接する地区からの排水等々が集中する状況であり無理がある。また、排水される自然壕の内部の状況把握がなされていない。今後の対策を伺う。
- (7) 今度の水害は天災ではなく人災であると思うが、農家に対する補償はどのように対応するのか伺う。

5 旧軍飛行場用地問題について

- (1) プロジェクト班も5年目を迎える中で、地主会との調整も活発に行われていると思うが、しかし何がどのように進んでいるのか成果が見えないが、次年度予算にどのように措置されているのか伺う。
- (2) 先行する市町村や地主会の対応をどのようにするのか伺う。できるところからとの考えで県は対応するのか伺う。
- (3) これからのスケジュールを示してもらいたい、何事にも計画があるはずである。

6 タクシー料金値上げについて

10月1日からタクシー料金が値上げされる。県民所得は全国最下位、高失業率、公共交通システムの貧弱な状況を考えると果たして値上げが適切な時期と言えるのか、疑問である。乗務員は客離れを心配する中で県の対応を伺う。

- (1) 行政は、指導的にタクシーとレンタカーとの需給調整を図る考えがあるのか。見解を伺う。
- (2) 乗務員の待遇改善策を明確に経営者が示すことが必要、対策を伺う。
- (3) 全車禁煙とし、客へのサービス向上への県としての支援策を伺う。

# 一般質問通告表

平成19年第3回沖縄県議会(定例会)

10月04日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	内間 清六(公明県民会議)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	台風11号について		
(1)	台風11号は、これまでの台風と違う特徴があったように思われます。県はどのように受けとめたか伺います。		
(2)	台風11号による災害対策で得た多くの教訓があったと思います。離島事情等を勘案した対策を検討する必要があると思います。県の所見を伺いたい。		
2	離島航路補助制度について		
(1)	離島航路補助制度事業の現状はどうなっているか伺います。		
(2)	離島航路補助制度における市町村負担の軽減はできないか伺いたい。		
3	離島航空路線の運賃について		
(1)	県は現行の運賃をどのように受けとめておられるか伺います。		
(2)	離島観光の振興を図るためにも運賃の低減化を図るべきだと思いますが、県の所見を伺いたい。		
4	離島航空整備法の制定について		
(1)	県は離島航空整備法の制定について検討されているようですが、その進捗状況について伺いたい。		
5	南北大東村における地上デジタル放送について		
(1)	県としてどのような対応を考えているか伺いたい。		
6	離島医療の充実強化について		
(1)	沖縄県離島・へき地遠隔医療支援情報システムの現状はどうなっているか伺いたい。		
(2)	今後どのような取り組みをされるか伺います。		
7	離島地域における自動車リサイクル法の適用について		
(1)	リサイクル料金の剰余金を活用して、離島対策支援事業の出捐の割合を10割にすることはできないか。県の所見を伺いたい。		
8	離島会館の建設について		
(1)	高等学校のない離島の過疎化を阻止し、離島振興を図るため学生寮を備えた離島会館の建設が望まれています。県の所見を伺いたい。		
9	離島空港の消防体制について		
(1)	化学消防車の配置は十分か伺います。		
10	特殊病害虫の防除について		
(1)	ウリミバエ根絶に至るまでの経過と根絶後の成果について伺いたい。		
(2)	ミカンコミバエ根絶に至るまでの経過と根絶後の成果について伺いたい。		
(3)	アリモドキノウムシ、イモゾウムシ防除事業の進捗状況と根絶後の生産振興計画について伺いたい。		



- (4) 沖縄におけるミバエ類、ゾウムシ類の根絶事業は、世界的にも画期的な事業と言われている。これらの事業を展示する展示館と、根絶により優位な亜熱帯農産物の特産品加工場を建設すれば、観光振興にもつながると考えられます。県の所見を伺います。
- 11 EPA等貿易交渉について
- (1) 県民大会や署名活動による阻止行動を展開していますが、その反応について伺いたい。
- (2) 阻止できなかった場合の影響と対策について伺いたい。
- 12 高等学校危険建物改築工事について
- (1) 工事がおこなわれている理由について伺います。
- (2) 仮設のプレハブ校舎には冷房施設が設置されないようですが、授業に支障を来すことはないか伺います。
- 13 警察行政について
- (1) 離島地域における犯罪の現状と今後の対策について伺います。
- 14 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成19年第3回沖縄県議会(定例会)

10月04日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
6	17分	赤嶺 昇(維新の会)	知事
質 問 要 旨			
1	知事の政治姿勢について		
(1)	完全失業率全国平均化実現に向けてのこれまでの取り組み状況と実績及び今後の見通しを伺う。		
(2)	県民所得が依然として全国最下位であるが知事の見解と対策を伺う。		
(3)	4万人の新規雇用を目指す中で正規雇用の割合をどうふやしていくかを伺う。		
(4)	観光客1000万人誘致への取り組み状況を伺う。		
(5)	公約である認可外保育施設への給食費の助成を次年度から確実に実施しますか。		
(6)	次年度から30人学級は実現できるか。		
(7)	普天間基地3年以内閉鎖状態の公約は実質的にあと「2年以内の閉鎖状態」が期限となってまいりましたが、その見通しと実現性を伺う。		
(8)	知事は、政府との信頼関係がしっかりできていますか。		
(9)	教科書検定の撤回を求める県民大会の見解と今後の具体的取り組みを伺う。		
(10)	教科書検定の撤回を県外の自治体に要請していく考えはないか。		
2	モノレール延長について		
(1)	モノレール事業の基本的な認識を伺う。		
(2)	モノレール事業に対してこれまで県民の税金は、総額で幾ら投入されたか。		
(3)	投入された額に対して那覇市民以外でどれくらいの県民が恩恵を受けているか。		
(4)	突然福祉センター改良案が浮上した経緯を伺う。		
(5)	福祉センター案ありきで議論が進んでいるような感じがするが、県は福祉センター案に誘導していませんか。		
(6)	モノレール延長検討委員会では、透明性を確保し、正確な資料を検討委員の皆様を提供していますか。		
(7)	検討委員会資料の各種指標(事業費・需要・採算性)の信頼性を伺う。		
(8)	財政負担も含めて検討委員会において改めて浦添市の説明を求めるべきではないか。		
(9)	福祉センター改良案の特徴で浦添市からの利用拡大が期待されるとあるが、その根拠を伺う。		
(10)	モノレール延長は、隣接する西原町のまちづくりにも大きな影響を与えるが、西原町はどの案を推進しているか。		
3	児童福祉・教育について		
(1)	軽度発達障害の実態はどうか。		
(2)	保育所・幼稚園・学童の障害児枠の実態及び待機児童は何名か。		
(3)	保育所・幼稚園・学童における軽度発達障害児の受け入れ体制はどうか。		
(4)	特別支援教育支援員予算に対する各市町村の予算状況はどうか。		

- (5) 教育サポーター制度は3年目になるが、年々縮小されている。必要ないと考えているのか。来年度以降の見通しはどうか。

4 病院事業について

- (1) 病院事業の単年度赤字額が過去最高の50億円にもなってしまい、県立病院の存在そのものが危ぶまれている状況であるが、その原因と対策について伺う。
- (2) 今後も赤字の状態が続くと病院経営にどのようなことが起こるのか。
- (3) 新年度の予算編成方針の中の最重点事項に「40億円の費用削減を目指す」とあるが可能か。その手法はどのようなものか。また現場の理解は得られているか。
- (4) 現場の要望が反映されない予算の仕組みで現場の医師、看護師等の士気は低下するのではないか。その他に予想される影響を伺う。
- (5) 病院事業の予算を組む上で繰入金は非常に重要であると思うが、県立病院を維持していくのに十分な繰入金は確保できるか。
- (6) 県立病院のあり方を考える検討会を立ち上げるようだが、過去の同様の検討会との違いは何か。これまでのあり方の検討では不足か。

5 警察行政について

得津新県警本部長の抱負を伺う

6 本県の防災対策について

- (1) 安里川のはんらん及び台風11号、12号に係る被害対策とその後の対応について
- (2) 基地防災統括監の役割と実績について

# 一般質問通告表

平成19年第3回沖縄県議会(定例会)

10月04日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	新垣 哲司(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	水産海洋研究センターの移転整備について		
(1)	水産海洋研究センター施設は、設置後33年が経過し、コンクリート壁の剥離等老朽化が進んでいるようだが、研究施設としての現状を伺いたい。		
(2)	33年が経過し、施設の老朽化及び周辺の都市化や研究環境の変化等により、移転整備の検討が進められているようであるが、検討はどの段階まで進んでいるか。		
(3)	移転整備構想ワーキングチームにおいて、移転候補地として6カ所選定しているようである。場所、研究環境、財政問題等課題が多いと思うが、移転整備に関する県の基本的考え方と場所決定のタイムリミットについて伺いたい。		
2	糸満与那原線の整備について		
(1)	糸満与那原線の糸満市山城～喜屋武工区までの整備の進捗状況と供用開始時期について伺いたい。		
(2)	糸満与那原線は、糸満市南部海岸域一帯の戦跡・史跡や平和創造の森公園を結び交通量の増加に対応するものであるが、現交通量と計画交通量について伺いたい。		
3	糸満市の集中豪雨被害について		
(1)	去る8月の集中豪雨により、糸満市は大きな被害を受けたが、県は被害状況を把握しているか。		
(2)	糸満市南部地域(宇江城と真壁地区)は、1991年にも台風により畑地が数百メートルにわたり冠水し農家は大きな被害にあったが、そのときの県の対応はどのようなにされたか。		
(3)	去る8月の集中豪雨では、宇江城と真壁地区は畑地の冠水や中学校敷地の土砂崩れが発生し、甚大な被害をこうむっている。同地区は大雨のたびに水害に悩まされているが、県はその原因をどこにあると考えているか。		
(4)	地元は、集中豪雨被害の原因として地下ダムの建設と土地改良区の整備で排水が悪くなったことを指摘しているが、県の見解を伺いたい。		
(5)	糸満市南部地域の冠水被害の解消を図るための対策として、県がとり得る方策について伺いたい。		
(6)	糸満市は、議会による決議で、県知事あての原因究明や農家の救済措置を求めているが、県の具体的対応を伺いたい。		
4	我が党の代表質問との関連について		